おしゃべりコーナー

（目次）

＜今月の歌＞
「死んだ女の子」　（竹の台・米田）

＜ショート・ショート＞
「夜景」　（春日台・大西　No.9）

＜9 条街角ギャラリー＞
「オープンガーデン訪問記」　（竹の台・こっこばぁば、樫野台・ラベンダー）

＜今月の歌＞

「死んだ女の子」

作詞　ナーズム・ヒクメット、訳詞　飯塚　広、作曲　木下航二

https://youtu.be/905YyLDpCd8?si=9ZCf4-3Zo8z5aysg

１９６０年代半ば、初めて働きだした職場、葺合区役所（区の合併で今は葺合区はない）で昼休み、若者が数十名集まってのうたごえ。

職場にひとり、神戸市役所センター合唱団の団員がいて、彼を中心に、周りの保育所などの職場から同じ団員が駆けつけ。

アコーディオンに併せて３０分ほど楽しく歌っていた、その中から**「死んだ女の子」**を推薦します。詩の意味をかみしめながら歌ったのを懐かしく思い出します。

♪ 扉をたたくはあたし
あなたの胸にひびくでしょう
小さな声がきこえるでしょう
あたしのすがたはみえないの

♪ 十年前の夏のあさ
あたしはヒロシマで死んだ
そのまま六つの女の子
いつまでのたっても六つなの

♪ あたしの髪に火がついて
目と手が焼けてしまったの
あたしは冷たい灰になり
風で遠くへとびちった

♪ あたしはなんにもいらないの
誰にもだいてもらえないの
紙切れのように燃えた子は
おいしいお菓子もたべられぬ

♪ とびらをたたくのはあたし
みんなが笑って暮らせるよう
おいしいお菓子が食べられるよう
署名をどうぞしてください

（竹の台・米田）

目次へ

＜ショート・ショート＞　　ちょっとした気づきやつぶやき・・・

「夜景」

夜景と言えば、函館、長崎、神戸である。

各々に山が海に深く沈み込み
良港の港町として栄えてきた。

一方で軍港の歴史をもち
戦争で甚大な被害を受けてきた。

高校時代、新聞の編集をやっていた頃
顧問の教師と記事を巡って対立していた。
顧問と一諸にどっぷりと暮れた坂を
何度も下りながら小さな夜景を見ていた。

顧問は当時 40 才代。
大学時代に学徒出陣を経験した世代で
50 才過ぎに現職のまま亡くなった。

神戸の夜景は、思い出の中に
少し滲んで見える。

春日台・大西　No.9

目次へ

＜9 条街角ギャラリー＞

「オープンガーデン訪問記」

　自慢のお庭を公開する「オープンガーデン」が美賀多台1件と春日台3件で公開され、5月18日に見学に行きました。

　お家の方と見事なバラのお庭が私たちを迎えてくれました。

　色とりどりに咲き誇る種々のバラと引き立て役のオルレアレースフラワーや足元のアリッサムがすばらしいローズガーデンでした。

　また、多肉やエアープランツのグリーンと鳥やカエル等のオブジェが限られた空間にセンスよく飾られており見事でした。

　素敵な庭で楽しい会話が聞こえてきて「平和やなぁ～　」と感じました。

（竹の台・こっこばぁば、
樫野台・ラベンダー）

目次へ